

県トヲ新聞

第66号

発行者
富山県トラック協
富山市水橋沖188
TEL 076(479)6311
FAX076(479)6300

Please! NEXT

次回担当は・・・
田邊さん
鈴木さん
よろしく
お願いします

今第66号は
春田・蛇見が
担当しました



社長 雑感 新型コロナウイルス蔓延の渦中で

経営戦略を構築する際にSWOT分析というのを行う。SWOTは「Strength」と読み、SはStrengthの略で強み、以下WはWeaknessで弱みを表し、これで自社の内部の強み弱みを分析する。OはOpportunityで機会、TはThreatで脅威を表し、我々が現在どのような経営環境にいるかという外部環境を分析する。この場合、新型コロナウイルスは、Tの脅威として認識されなくてはならないが、果たしてSWOT分析を実施している企業のどれほどがこれを脅威として捉えていたのだろうか？少なくとも県トヲにはその認識が無かったと言える。

新型コロナウイルスは世界中に蔓延しており、最近の二週間の大半がそれに関連するものである。しかし、氾濫する情報の何を信じて良いのか我々には判断がつかない。また、各国の対応もそれぞれ違い、感染者数や死亡者数も信頼できるものなのか疑わしい。感染が始まったころには「たいしたことない」と言われ、国際機関もいつまでも緊急宣言をしなかった。それによつて様々な勝手な解釈が生まれ、誤った判断がされた。その結果、町には感染者が溢れ医療崩壊を招いて、予想以上の人が亡くなるという事態に陥っている。

日本でも二月初めごろから感染者が増え始めていたが、オリンピックの開催もあり、政府の方針がなかなか決まらず、逆に三月下旬の連休頃には根拠のない安心感が広がってしまった。その結果かどうかはわからないが、四月初めから感染者数が急拡大し、医療崩壊が始まっている。

コロナは企業にとつても、個人にとつても、脅威(T)である。そんなはずじゃなかった」ではすまされない。はつきり言って、企業の命運も自分の命も自らが守る以外に方法は無い。経験したことのない脅威の前では最悪を想定して行動するしかない。誰かに文句を言っても始まらない。十分注意をしても、移る時は移るのであり、感染した人を責めても意味が無い。政府が信用に足らない事は明白であり、我々が耐えてコロナを克服したとしても、しっかり努力を横取りされると思っていた方がいい。

今はとにかく「Stay at Home」(家にいなさい)だ。そして、何よりも手洗いは有効だ。これも忘れずに。そして今この時、コロナと闘う医療従事者が居る事を忘れてはならない。予防して、病気がかからない事で彼らを支えよう。中傷や非難は愚の骨頂だ。一日も早く元の世の中に戻るよう、今は皆で協力をお願いします。

吉澤比佐志

2020 上期キックオフ開催

新年度にあたり、二〇二〇年の上期キックオフを開催しました。吉澤社長より「ピンチはチャンス」が今年度のキーワードとして発表されました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大が続く中の厳しいスタートとなりましたが、社員一丸となって困難に立ち向かい、感染が収束したころには元に戻るのではなく、新たなステップに進んでいられるよう、業務に取り組んでいきたいと思えます。また、各部門長より今年度の決意表明が行われ、目標達成に向けての活動が始まりました。



キックオフは花井課長／各部代表が決意表明



社内企画ワークショップ開催

柴山課長を中心に企画した子供向けの県トヲワークショップが開催されました。前半は県トヲの匠・笹倉さん指導のもと巣箱づくりに取り組みました。後半では県トヲの倉庫やトラックの見学を行いました。寒い日でしたが、子どもたちの元気な姿に活力をもらういい企画になりました。



トラックに同乗し構内一周も実施しました



笹倉さん指導&親御さんも手伝います

祝 入社式 & リレー方式 県トヲ社員紹介

今回は本年度新入社員の植野晴菜さん、竹内諒果さん、中田友美さんの紹介です。

Q1 県トヲの第一印象は？

A 植野 アットホームで仲が良さそう

A 竹内 元気！アットホーム！

A 中田 明るくて楽しそうなところ

Q2 趣味は？

A 植野 読書

A 竹内 FESやライブ

A 中田 読書

Q3 休日の過ごし方は？

A 植野 読書

A 竹内 最近発売した「あつまれどうぶつの森」をやっています

A 中田 本屋巡り・家事

Q4 一言お願いします

A 植野 一生懸命頑張ります

A 竹内 「何事にも挑戦」が長所

A 中田 精一杯頑張ります！



なかだ ともみ 中田 友美さん

たけうちりょうか 竹内 諒果さん

うえの はるな 植野 晴菜さん



祝 路面電車南北接続開業！

従来は富山駅で南北に分断されていた、市内電車と富山ライトレール(富山港線に改称)の南北接続工事が完了し、三月二一日より直通運転が開始されました。富山港線の終点、岩瀬浜から南富山駅前、富山大学前環状線にそれぞれ直通して乗換なしで移動することができるようになりました。本来であれば、開業日に試乗にいきたかったですが、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み外から眺めるだけにしました。利用できる日が来ることを楽しみに待っています。(春田)



2,000枚限定の記念えこまいかも買えました！



暖かくなったのにお出かけもできず残念です。そこで、先日家でこれまで撮った写真を見返して見てつけた癒し動物をご紹介します。

上野動物園(東京)のニシゴリラ「ピーコ」

二七歳で日本最高齢のゴリラです。ピーコは群れで展示されている他のゴリラと違い、一匹でピーコ自身が出たい時にだけ外に出ているので、必ず見られるとは限りません。上野動物園と言えどパンダですが、このピーコもネットで見かけて動物園に行く前から気になっていました。今日はいるか・とドキドキしながら柵の中に入りました。今日はいるかを見た時は感激！布を被るのが好きなようで、私が見た日も頭にタオルを被り、毛布を敷いて座っている姿がとても可愛かったです。

ピーコ以外のゴリラは、お父さんゴリラ「ハオコ」がリーダーの家族のような群れで暮らしています。ゴリラは家族を大切に動物で、お父さんはよく子供の世話をします。赤ちゃんゴリラを背負って食事する姿はとっても微笑ましいです。

ところで野菜や果物でどうしてこんなムキムキになれるのでしょうか。ゴリラの腸内には植物を筋肉を作る成分に変える微生物がいるため、筋力もせずにあの体型でいられるそうです。

並んでまで見たパンダは、寝ていてお尻しか見られません。



蛇見の動物図鑑